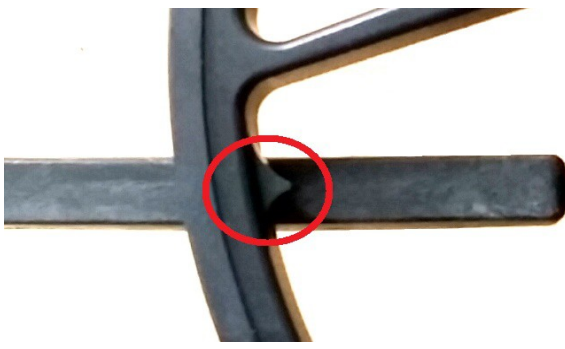


ノーカムシステム チューニングガイド



ノーカムシステムはカムを使用しませんが、上下の二つのホイールで弦を巻きだすので、そのチューニングは、ワンカムよりも、ツーカムシステムに近いものとなります。

モジュールの動きを同期させるためには、ケーブル、弦の長さを正しくし、インデックスマークに合わせるようにしてください。それによって、ノーカムシステムの最大の特徴である完璧なノックトラベルを実現できます。



アルファベット	HTR	TRG7	TRG8	TRG9
A	30	31	32	33
B	29.5	30.5	31.5	32.5
C	29	30	31	32
D	28.5	29.5	30.5	31.5
E	28	29	30	31
F	27.5	28.5	29.5	30.5
G	27	28	29	30
H	26.5	27.5	28.5	29.5
I	26	27	28	29
J	25.5	26.5	27.5	28.5
K	25	26	27	28
L	24.5			
M	24			

装着位置情報 RHモデルは Aが下、Bが上
LHモデルは Bが下、Aが上

**NoCam™ HTR
85% Let-Off**



ノーカムシステムの上下のホイールは全モデル共通で左右対称です。そのため、ドロールングス、レットオフ、RH/LHの切り替えはモジュールの交換のみで可能です。

ポンド調整を行う場合、5回転までボルトを緩めることができます。HTRでは1回転で3.5ポンド落ちるので、3回転で10ポンドを落とすことが可能です。ボウプレスにかける場合は5回転緩めてください。プレスする時にはドローストップの位置にも気を付けてください。

ノッキングポイントは高めにセットする必要はなく、直角に、高くても1/16インチまでがスタートポイントです。このシステムではセンターショットは3/4インチの場所にあります。